

熊本市社会福祉功労者等知事表彰を受賞

2月8日（木）、県庁で平成29年度熊本市社会福祉功労者等知事表彰式が行われ、眞崎祐享さん（下津田）が表彰されました。

熊本市社会福祉功労者等知事表彰とは、社会福祉の向上に特に著しい功績のあった者及び団体等で、真に他の模範となるものに対し、その功績をたたえ表彰されるもので、今回の受賞は、眞崎さんが長年、町の身体障害者福祉協議会の理事等役員としての活動が評価されたものです。

眞崎さんは「近年、会員が減少しているのに、会員が増えるように、さらに活動に取り組んでいきたい」と話されました。



受賞した眞崎さん

熊本市優良読書グループ「和水お話の会」

2月15日（木）、熊本市立図書館で「平成29年度熊本市読書活動推進功労者及び優良読書グループ表彰式」が行われ、「和水お話の会」が優良読書グループとして表彰されました。

和水お話の会は平成22年度に各学校で行っていた読み聞かせグループから有志が集まり、和水町の子どもたち等の読書活動の推進に取り組むことを目的として活動しています。

会長の廣田須美子さんは「これからも和水町の子どもたちのために、活発に活動していきたいです」と話されました。



表彰に笑顔の和水お話の会のみなさん

金栗四三シンポジウムを開催 ～吉地の里づくり推進協議会～

2月17日（土）、三加和公民館で「大河ドラマ放送記念金栗四三シンポジウム」が開催されました。

これは吉地地区で地域づくり活動をしている吉地の里づくり推進協議会の主催で行われたものです。

コーディネーターを会長の小山曉氏が務め、パネリストに本町出身で陸上、駅伝に関わる5名の青年が、それぞれの近況や金栗四三氏への思いなどを語りました。

5名のパネリストはいずれも、中学時代に三加和中学校の陸上部に所属し、金栗氏の功績を感じながら成長してきたとのこと。現在はそれぞれの道で活躍していますが、中学時代に学んだ金栗氏の存在が大きいとのことでした。今後も金栗氏の意味を受け継ぎ、子どもたちへ引き継いでいくことが大切であると声を揃えて話されました。



活発な討論が行われました



大きく羽ばたけ！
和水の若人



3月13日（火）、菊水中学校・三加和中学校で卒業式が行われ、厳かな雰囲気の中、菊水中52名、三加和中32名が慣れ親しんだ学び舎を巣立ちました。

3年前、中学校に入学生時はまだ幼さが残っていた生徒達でしたが、勉強やスポーツに励み、充実した中学生生活を過ごしたことで、学校行事を通して物事をやり遂げることに先輩として下級生を引っ張っていくこと。多くのことを学んだと思います。理解しあえる友達もたくさんできたと思います。

これからは、それぞれの進路を歩んでいきます。自分の夢を追い、親元を離れる生徒もいることでしょう。

悩みや苦しむこともあると思いますが、中学生生活で学んだことを思い出し、いろいろなことにチャレンジしてほしいと思います。

卒業生全員の前途に幸あれ！